

2. 指標設定

成果指標	指標名	苦情件数削減		目 標 年 度	—	指標の設定理由				
	数値	—				住民との共存共栄を図る				
活動指標	指標	a	協議の開催	b	施設の整備	c	資材の購入	d		
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
苦情件数削減		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 協議の開催		1回	5回	9回
b 施設の整備		—	—	—
c 資材の購入		—	—	—
d				

4. 課題と対応

課題
昨年の7月は臭気の苦情が減少したが今年になって臭気は増加傾向にある
対応（改善点等）
月一回、三者による代表者会議を行い相互理解をしながら臭気対策に取り組んでいる

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

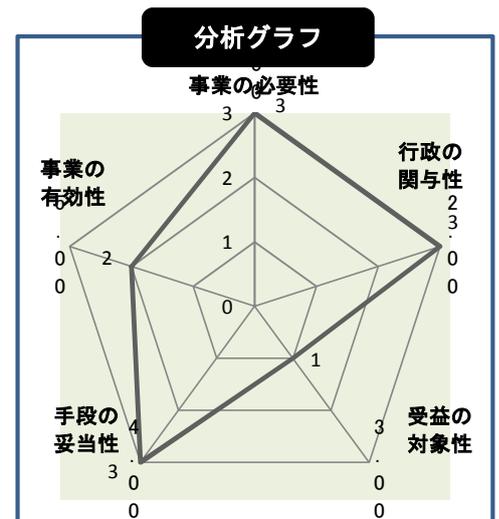
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		556	235	51	800
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	556	235	51	800
うち経常		556	235	51	800
事業費に係る人件費		5,094	4,907	4,905	5,031

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
畜産業を営む上では住民との共存共栄が目標であることから市も支援していく

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 臭気の軽減により生産意欲向上を図る必要がある
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 住民との共存共栄を図る必要があることから行政の取組が必要
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 各地域で臭気問題があれば迅速な対応をしていく
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 農家の経営力にあった事業の取り組みが必要である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 昨年の7月は臭気の苦情が減少したので、その時点の対策を振り返り成果を上げるよう取り組む



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き課題解決に向けた対応を行うこと